

## 第5学年1組 図画工作指導案

千葉市立千城小学校

指導者 眼目 英伸

展開場所 第1グラウンド・希望が丘

平成26年10月21日(火)

### 1 題材名「思わずふり向く景色をつくろう！ ～千城の自然を感じながら～」

#### 2 題材について

造形遊びは、表現することの楽しさや可能性を生かすものであり、1人1人が主体性をもって活動することができる学習活動である。「遊び」がもつ活動のよさを生かした表現活動を学習内容として構成し、楽しく造形遊びをすることにより、児童の主体性や創造性、冒険心、共同性などをはぐくむものである。細かい作業や描写などの活動を不得意とし、図工が苦手と感じている児童も、技能の優劣といった枠にとらわれずに楽しみながら活動できるものと考え、本題材をとりあげた。

学習指導要領では、第5学年及び第6学年の目標として、(1)「創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。」(2)「材料などの特徴をとらえ、創造力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。」と示されている。また、この目標をうけて、内容Aの(1)「材料や場所などの特徴を基に造形遊びをする活動」を通して、ア「材料や場所などの特徴を基に発想し想像力を働かせてつくること。」イ「材料や場所などに進んでかかわり合い、それらを基に構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながらつくること。」を指導する、とある。本題材は、これらの目標と内容、そして自然豊かな本校の環境と児童の実態を受けて設定したものである。

本校は、千葉市の中でも自然豊かな地域に位置しており、校庭の大きなけやきの木をはじめとして、種類豊富な動植物に出会うことのできる学校である。児童は、1年を通して、校庭の中心にたたずむけやきの木の変化に四季を感じながら、様々な虫や鳥、花や草木に囲まれて学校生活を送っている。

本題材は、毎日の生活の舞台である学校という場所の特徴に改めて目を向け、そこにある材料や場所に進んでかかわり合いながら造形遊びをするものである。けやきの木や希望が丘の様々な木々、たくさんの落ち葉や枝などの材料から、思い付くままに造形遊びを楽しませたい。また、一人一人が自然とかかわりながら、それぞれの感性を解放させて活動できるようにしたい。

本学級は、男子4名、女子3名のクラスである。図工の学習に対しては、7人中6人の児童が「好き」と答えており、興味・関心が高いことがわかる。ものを作ることに對して純粋に楽しいと感じている児童や、完成した作品を想像して期待を膨らませる児童、作品を作り上げた時の達成感を喜びとしている児童が多い。その反面、絵をかくことやものを作ることに苦手意識をもつ児童もいる。周囲の視線が気になったり、納得のいかない表現や自信のない表現をすることに抵抗を示したりして、創造的な発想ができないものと思われる。さらに、学級全体として造形遊びの経験がほとんどなく、児童が「自由に」「思いつくままに」活動することに戸惑うことが予想される。苦手意識をもつ児童に対しては、友達とかかわりながら活動する中で、友達の手法を参考にしたり、一緒に考えながら活動したりすることで自信をもたせられるようにしたい。また、造形遊びの経験不足を補いつつ、児童の発想や表現の幅を広げるために、材料とふれあい、操作し、試行錯誤をする時間を十分に確保したい。先日行ったビルダーカード

を使った活動では、室内での造形遊びを思い思いに楽しむ様子が見られた。最初は戸惑う様子も見られたが、「自分の身長よりも大きいものをつくる」というテーマにそって、試行錯誤をしたり、友達と助け合ったりして活動することができた。

本題材を通して、児童が友達と共同製作をしながら互いのイメージの変化を確かめ合ったり、友達の表現に関心をもちながら自然に関わり合ったりすることができるようにしたい。活動を進めながら新しいアイデアや発想を交流し、試行錯誤する過程を通して、様々な表し方や見方にふれ、創造的に表現しようとする態度を育てていきたい。

### 3 題材の目標

○木の葉や枝などの材料を基に場所の構成や造形的な活動を思い付き、場所の特徴を生かしながら、材料の使い方や場所との組み合わせ方などを工夫して表す。

### 4 評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
木の葉や枝などの自然の材料や場所の特徴を生かした造形的な活動に取り組もうとしている。	木の葉や枝などの材料が作り出す形や色、動きの感じなどを基に、場所の構成や造形的な活動を思い付いている。	場所の特徴を生かしながら、木の葉や枝などの材料の使い方や場所との組み合わせ方を工夫している。	感じたことを話したり、話し合ったりしながら、形や色、表現の特徴などを捉え、よさや美しさを感じ取っている。

### 5 指導計画（4時間扱い）

○校庭を変身させるための材料集めをしよう（構想）・・・2時間

- ・活動の約束や注意点などについて確認する。
- ・けやきの木の下や希望が丘などにある材料を集める。
- ・木の葉や枝など、校庭にある様々な自然物にふれ、形や色を感じながら、材料の使い方を考える。
- ・校庭のいろいろな場所を下見し、どの場所の風景を変身させたいかを考える。
- ・集めた材料を種類別に分ける。

○校庭を変身させよう（制作・鑑賞）・・・2時間（本時2／2時間目）

- ・材料と場所を選んで、材料の使い方や場所との組み合わせ方を考えながら、造形遊びをする。

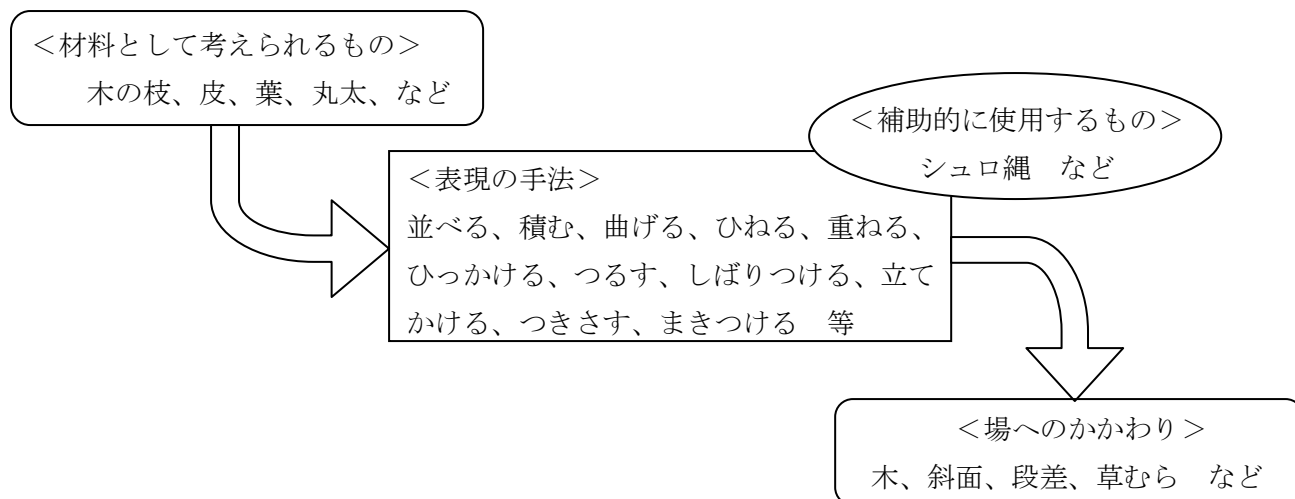
### 6 研究の視点について

**視点1：児童が表現する喜びを十分に味わい、心はずませながら活動するための手立て**

#### ① 材料とふれあう時間の設定

経験の少ない児童が、「造形遊び」という活動そのものに対して、「何をすればいいのかわからない」と戸惑うことが予想される。集まった材料を目の前にしても、それらをどのように組み合わせるか、というところでつまづく児童がほとんどであろう。また、自然物のように多様な形状のものは、やってみると思い描いたイメージ通りにはなかなかうまく組み合わせられないと考える。本題材の導入段階では、まず材料集めを行い、材料や場所に十分かかわらせたい。使えそうなものを探して集めながら、最終的にはどの場所で造形遊びをしたいか、一人一人が想いをめぐらせることのできる時間としたい。

さらに、自然の中で造形遊びをする前の段階として、集めた材料でどんなことができるか、児童に思考錯誤をさせながら組み合わせる時間を確保する。複数の材料に対して、様々な手法でアプローチすることで、多種多様な表現ができるということを経験することによって、場所へのかかわり方についての関心も深まっていくと考える。また、材料の選択や扱い方の約束については十分に説明し、危険がないように心がけたい。



## ② ビデオカメラの活用

本題材の前半では、児童が材料に触れ合い活動する様子を、教師がビデオカメラで撮影して記録する。図工に苦手意識をもつ児童にとっては、友達の手法や活動の仕方を参考にすることも重要であるが、活動中に友達の様子をじっくりと見ることは難しい。また、完成した作品を見ても、それがどのようにして作られたのかを想像することも難しい。活動の様子を映像として記録しておくことで後に確認ができ、自身の活動の参考になると考えた。

## ③ 自然のよさを感じ、生かしながら活動すること

本題材の後半では、学校の自然の物を材料として、屋外の場にかかわりながら造形遊びを行う。その際には、なるべく自然の物を利用して、人工的な物を使用しないように進めていきたい。また、前半部分で経験した手法を使って活動させ、「切る」「折る」「くっつける」などのかかわり方は極力させずに活動させたい。自然の物を自然のままに生かして作ることによって得られる偶然のおもしろさや、もとの形のまま自然に返すことの優しさを味わえるようにしたい。

### 視点2：児童が自信をもち、進んで思いを伝え合えるようにするための手立て

#### ① 写真を活用したワークシートにより、思いを言葉に表すこと

自然の物を組み合わせて仕上げた作品をカメラで撮影し、写真をワークシートにはって、そこに感じたことやイメージしたことを記入して学級内で共有する。個人個人で記入したものを発表し合ったり見せ合ったりして、それぞれが感じたことを自由に述べることにより、様々な感じ方があることの良さを感じられるようにしたい。

7 本時の指導

(1) 目標

○場所の特徴を生かしながら、材料の使い方や場所との組み合わせ方などを工夫して表す。

(発想と構想の能力)

(2) 展開 (6 / 6)

学習活動と内容	教師の支援 (○) と評価の観点 (◆)	材料・資料
<p>1 前時の活動をふりかえる。</p> <p>2 学習のめあてをつかむ。</p>	<p>○前時の活動で感じたことや、使ってみたい材料・場所や、表してみたいイメージなどについて確認し、本時の活動への意欲を高める。</p>	
<p>千城の自然を組み合わせて、思わずふり向くような景色をつくろう。</p>		
<p>3 活動の約束を確認する。</p>	<p>○けやきの木から希望が丘の中心部までを活動範囲とし、安全第一で行動することをおさえる。</p> <p>○友達と相談したり、見合ったりしながら造形遊びをしてもよいことを確認する。</p> <p>○表現の手法について確認するとともに、折ったり強く曲げたりなど、無理に形を変えないことをおさえる。</p> <p>○完成したら写真をとって記録することを確認する。</p> <p>○1つ作り終わったら、他の材料や場所を選んで、作ってよいことを伝える。</p>	<p>集めた材料 シュロ縄</p>
<p>4 材料や場所にかかわりながら、造形遊びをする。</p>	<p>○材料や場所選びに迷っている児童には、適宜助言をする。</p> <p>○表現の工夫については大いに褒め、より創作意欲が高まるようにする。</p>	
<p>5 できた作品について見合ったり、感想を言い合ったりする。</p>	<p>○工夫されているところや良いところを伝え合い、いろいろな感じ方に触れられるようにする。</p>	<p>タブレット 端末</p>
<p>6 学習のまとめをする。</p>	<p>○児童の活動の感想をとりあげて賞賛するとともに、片づけの仕方についておさえる。</p> <p>◆場所の特徴を生かしながら、材料の使い方や場所との組み合わせ方などを工夫して表している。</p> <p>(発想と構想の能力)</p>	

思わずふり向く景色をつくろう！～千城の自然を感じながら～ ワークシート

5年 名前 \_\_\_\_\_

活動のめあて

作品の題名



使った材料

木の枝    葉    石    丸太    木の実    その他 (       )

手法

並べる    積む    曲げる    ひねる    重ねる    ひっかける    つるす  
しばりつける    立てかける    つきさす    まきつける    その他 (       )

工夫したことや感じたこと